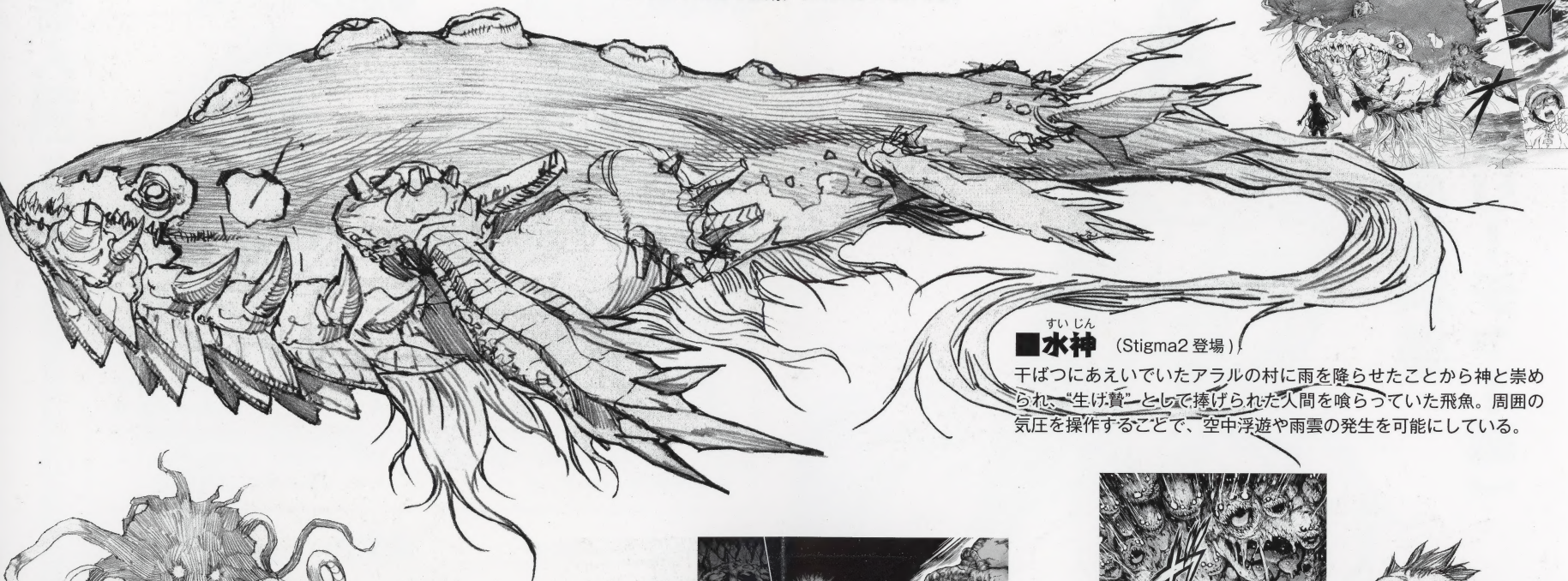
©Kyoichi Nanatsuki/SQUARE ENIX
©Night Owl/SQUARE ENIX
NOT FOR SALE
設定資料集
【クリーチャー編】
オの旅商人
The Arms Peddler

※イラストは全て初期デザイン時のものです。

■水神（すいじん） (Stigma2 登場)

干ばつにあえいでいたアラルの村に雨を降らせたことから神と崇められ、"生け贄"として捧げられた人間を喰らっていた飛魚。周囲の気圧を操作することで、空中浮遊や雨雲の発生を可能にしている。

■クロウラー (Stigma14 登場)

体長10数ｍに及ぶ巨大な軟体動物。イモムシに似ているが肉食性で、地底に迷い込んだ動物や闇人を捕食する。半透明の身体に内臓が透けて見える。

■死の記憶 (Stigma16 登場)

第16番遺跡群に眠っていた残留思念生命体。通常の空間に隣接する「狭間」と呼ぶ領域から獲物を狙う。旧文明時代におけるカルト教団の集団自殺の記憶から生まれた。

■霊喰鳥（レクイドリ） (Stigma1 登場)

屍肉食により死体の記憶を手に入れ、人間に擬態するという特殊な習性を持つことから「死者の魂を冥界に運ぶ」と言い伝えられている鳥。実際は新たな獲物を死地に誘引するための捕食行動である。

【亜人種（デミ・ヒューマン）】

■吸血鬼（ヴァンパイア）(Stigma22 登場)

人間世界から隔絶した結界空間“黒い森”に住まう一族。その血脈は旧文明時代から存在し、人間の血を吸う、太陽の光に弱い、十字架を嫌うなど、生態や特徴は様々な文献・伝承等で明らかにされている。

■ガロン (Stigma5 登場)

自らを戦闘種族と称する半人半獣の種族。戦場で果てる事を何よりの美徳とする独特の死生観を持つ。人間と雇用契約を結んで戦争に参加する目的も、金銭よりも戦闘そのものに対する本能的欲求による。

■ゾンビ (Stigma9 登場)

屍霊術師（ネクロマンサー）の「反魂術（はんごん）」により甦らせられた死者の総称だが、「人間」に区分されないため特例として掲載する。脳や心臓を損傷しても行動を停止しないが、身体のどこかに刻まれた“紋”が欠損すると死体に戻る。

■闇人（やみびと）(Stigma13 登場)

交易都市ユガから伸びる地底街道に生息する亜人種。光に弱い体質で地底で暮らし、苔や虫を常食とする。旧文明時代の遺伝子工学によって生み出された新種の人類という風聞があるが真偽は不明。